

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



次世代を担う
若者たち
～玉葱の収穫作業を行う岡崎駿一さん～
(紹介は12ページ)



祝 米寿

～花束と記念品を贈呈～

※米寿を迎えた皆さんが生まれた昭和6年は、国内初の三色灯の自動信号機が設置、東京飛行場（現在の羽田空港）が開港した年でした。また、アメリカ（ニューヨーク）に世界一の高さを誇るエンパイアステートビルが完成した年でもありました。

開拓時代の感謝の気持ちと米寿（88歳）を迎えたご長寿のお祝いが9月11日、当JAの川上和則組合長から皆さんに「おめでとうございます。これからも身体に気を付けて、元気にお過ごしください」と声掛け、花束と記念品が贈られました。

米寿を迎えた皆さんは、川上組合長の来訪を笑顔で出迎えました。本町農業の発展にご尽力され、現在の経営基盤を確立して頂いたことに心より敬意を表しますと共に、次の白寿（99歳）を目指して、元気でお過ごし下さい。

米寿を迎えた皆さん、またご家族の皆さん誠におめでとうございます。



佐野ツル子さん

週に一度のデイサービスに行くことが楽しみです。また、家族と一緒にいられて幸せです。これからも健康に気を付け長生きしたいと思います。



得川 静子さん

今は週に一度デイサービスに通つていてそれが楽しいです。また、ハウスで野菜などを育てています。これからも頑張って育てていきたいと思います。



麻畠 喜男さん



山内美佐子さん

家族といらげて幸せです。体調に気をつけこれからも暮らしていきたいと思います。

オホーツクJA青年部道外視察研修を終えて

JJAといろいろ青年部 部長 安藤 貴彦

オホーツク管内JA青年部役員道外視察研修が7月16～19日の日程で行われ、神奈川県、東京都の各関係機関へ視察研修を行つて参りましたので報告致します。

横浜輸入倉庫

神奈川県横浜市

最初の視察先は輸入品の実態把握、国産農産物の作付け意識向上を図るため「横浜輸入倉庫」を視察しました。ここでは普段自分たちが食べている半分以上は輸入食品であり、その保管実態について港湾労働組合執行委員長の案内により見学し、話を聞きました。倉庫にはたくさんの輸入

MILKLAND HOKKAIDOの説明を聞く皆さん



食品があり、それは原材料と
いう形で木箱に入っています。
保管状況などを見る限り清潔
とは言えませんでした。野積
みになった野菜や果物を見て、
自分たちが作る作物をいかに
安全・安心をモットーに消費
者に届けることが自分たちの
農業を守る最低限の役割と再
認識させられました。

(株)日本フードエコロジーセンター

神奈川県相模原市

次の視察先は、株式会社日本フードエコロジーセンタードです。同会社では、毎日賞味期限切れ、廃棄による食品を受け入れ、リサイクル法に基づき、そこから作り出した配合飼料とすることを事業としています。日本の現状として、全国の自治体で食品を廃棄処理するために、1兆円の税金が費やされていることを知り

日東富士製粉(株)

東京都大田区

続いて日東富士製粉東京工場に向かい、日本の小麦情勢、外麦の受け入れ状況などを聞きました。同会社では輸入85%、国产小麦15%を取り扱っており、国产小麦の評価としては、やはり毎年品質のバラつき、「たんぱく・灰分」が課題で、量、質ともにまだ外国産に分があるそうです。安価な輸入小麦に勝つにはまず、私たち農家の栽培技術向上、安定した品質を意識した生産をしなければならないと考えました。

国会議事堂

衆議院議員会館 東京都千代田区

続いて、国会議事堂の見学に行き、武部新代議士の事務所を訪問しました。公務多忙により、お会いすることができませんでしたが、懇親会には園子夫人を招き、これからの方オホーツク農業について熱く語り合い農業議論に花を咲かせました。

4つ目の視察先は、東京自由が丘にあるMILKLAND HOKKAIDOです。北海道の生乳ブランドを高め

農林水産省 東京都千代田区



視察研修に参加したオホーツク管内青年部役員の皆さん(国会議事堂前)

そこでは、新たな政策への要望、現状の政策の再評価をし、オホーツク地域における課題を青年部ボランティアや自分達の意見を交えて大変活発な意見交換の場となりました。

おわりに

今回の視察研修を通じて、普段見ることのできない施設や、輸入作物の実態、フードロスによる廃棄問題、各関係機関との意見交換などを終え、大変貴重な時間を過ごすことができました。そして何よりも、今後の自分自身の農業、青年部活動にも生かすことができました。そこで何よりも、各JJA単組部長との親睦も深まり、今後の自分自身の農業、青年部活動にも生かすことができる研修になりました。

地域交流と豊穣の秋を祈願して

各地区で秋祭り 開かれかる

8/31 共立

常呂町内の五穀豊穣と農業の発展を祈願した「秋祭り」が8月31日、9月1日、12日に各地区で行われました。

各地区ともジンギスカン鍋や焼肉を囲みながら、地域の特色を活かされた恒例行行事やbingo大会などを通じて、子どもから大人まで参加者全員で楽しみ、地域が一つになったひと時を紹介します。



● 焼肉を囲んで交流しました



上手に取れるかな

9/1 豊川

9/1

福山



おめでとうございます！



じゃんけん・ぽん



写真上：豊穣の秋を祈願する高橋光明さん
写真下：農業発展を祈願しお祓いしました



チヨキ



9/1 富丘



● 農業発展を祈願しお祓いしました



● 勝者は誰だ!?



● 出来立てで美味しいよ!

9/12 常呂神社



● わつしょい!と力強く運ぶ神輿



● JA事務所前で新規就農者の皆さんと一緒に農業の発展と豊穣を祈願しました

(前列 右)大江慎悟さん
(後列右から)森澤佑紀さん、米山東亜さん、江田拳さん、
大友雅也さん、佐藤陸也さん

9/1 目吉



● 写真上:何番かな?
写真下:焼肉をしてひと休み



タスマニア島研修を終えり

～JA役員海外視察研修（後編）～

アグビータ (土壤・作物・水・微生物分析研究所)

アグビータは土壤分析などを行つ企業で、オーストラリア国内に同じような企業が8社あり、同社は中規模の企業になります。主に、土、植物、水の分析を行つており、利用する農家は園芸の小規模農家が多く、大規模の畑作農家の利用もあります。基本的には、オーストラリア国内（本土含む）のみの分析で、海外からの分析は受けていません。タスマニア州の分析もありますが、オーストラリア本土からの依頼の方が多い、農家から直接サンプルが届き、結果はコンサルタントに報告し、分析結果を踏まえた指導を行つもらっています。

夏場の多い時では、1日で植物150検体、水50検体、土50検体の分析を行います。植物と水は1日、土は5日後



● 土壤分析を説明する研究員

ラッドフォード氏 (農家)

タスマニア島は年間降水量が600～700 mmと少ないため、かん水システムが多く導入されており、GPSと連動しています。かん水システムに使用する水は政府から購入しますが、降水量が少ないとことにより水購入にかかる費用が高く、農業経費の約4割が水購入費用に費やされています。

タスマニア島は馬鈴薯、牧草6 haを作付しています。小麦は良ければ1 haで10 tの収量があります。肉牛を約40～50頭、羊は約150頭飼育しています。羊は綿羊ですが、馬鈴薯収穫後にその圃場で羊を放牧することにより、羊が野良芋を食べてくれるこ

とで約の割の野良芋を軽減できています。

オーストラリアではJAの様々な協同組織がなく、経営な

多くかかるため、付加価値のあるものを中心に調査の依頼がきます。分析料は植物、水で1検体6,800円、土で4,000円～10,000円となっています。

多くのかかるため、付加価値のあるものを中心に調査の依頼がきます。分析料は植物、水で1検体6,800円、土で4,000円～10,000円となっています。



● ラッドフォード氏家族と役員の皆さん

チエリーヒルズ (種芋管理会社)

種芋農家から集荷した種芋の消毒や選別を行い、生産者へ供給する企業で約30年経営しています。消毒や選別を行った種芋は植付け時まで保管し、生産者へ供給しています。受入する種芋は畑の段階から確認し把握しています。受入時にタスマニア大学やタスマニア農業研究所（TAA）と連携し、トラック段階でサンプルを抜き取りし、検査を行い、合格した種芋のみ引き受けます。受入数量は年間15,000 tで、種芋を供給する会社としてはオーストラリア最大級で、オーストラリア国内のみの販売を行っています。フライドポテト用だけでなく、ポテトチップス用の種芋も販売しています。



農産物の生産、選別、出荷を行つ家族経営の企業です。取扱い品目は10～12品目で、人参や玉葱、かぶ、ビーツ、芽キャベツなどの栽培出荷を行つており、選別後パックイングし、直接スーパーなどに販売しています。自社で栽培している作物もあれば、契約農家から集めている作物もあります。タスマニア島は人材不足で、アルバイト（バックパッカー）を雇用することにより人材を確保していますが、アルバイトの時給が高いため、大幅な機械化を目指しています。

年間6,000tの野菜を栽培し、人参をメインに玉葱、ブロッコリー、キャベツ、カリフラワーなどを栽培しています。人参と玉葱は日本にも輸出しています。南瓜も日本に輸出していましたが、品質

プレミアム・フレッシュ (農業生産・流通業)



栽培されているラズベリー畠

プレミアム・フレッシュ (農業生産・流通業)

12haの畑とカフェを所有しており、2haでいちご、ラズベリー、ブルーベリー狩りを行つておられるほか、スーパーにも出荷しています。収益のほとんどがカフェの売上であります。カフェは年間15万人の来客があります。キャンパーをターゲットに駐車場の整備を行い、カフェで利用者の拡大を図っています。



種芋を見る役員の皆さん

ターナーズ・ビーチ ・ラズベリー農園

に問題はないものの、コストが高いため、現在は輸出を取り止めています。夏に栽培した野菜は収穫後パッキングし、スーパーに販売しており、冬は畑に牧草を緑肥として植付けしています。畑の輪作体系は3～4年輪作をとっています。

タスマニア島にはワイナリーもありますが、ワイナリーはぶどう栽培にかかるコストが大きいため、ウォッカやジンが伸びています。

馬鈴薯は年中選果を行つており、1日10～15t選果しています。夏場は土付、冬場は洗いで販売し、時期やニーズに応じて対応しています。所々で販売する畑は600haで毎年150haの馬鈴薯を栽培し、4年輪作としています。

馬鈴薯は年中選果を行つており、1日10～15t選果しています。夏場は土付、冬場は洗いで販売し、時期やニーズに応じて対応しています。所々で販売する畑は600haで毎年150haの馬鈴薯を栽培し、4年輪作としています。

トライア全体で年間90億円出荷し、自社ブランドで150万t販売しています。

現在は1t47円で、オース

トラリア全体で年間90億

円出荷し、その8割が国内消費となっています。

おわりに

今回の海外視察研修で、大規模での家族経営農業や研究所など、海外農業に触れる貴重な体験ができました。今回の研修を今後の常呂農業の更なる発展に繋げて行きたいと思います。



加工に使われる馬鈴薯

ブルーム・クリーク (酪農)



牛舎を見学する役員の皆さん

1度に60頭対応の搾乳マシンを使用し搾乳を行つてい

ような企業は17社でしたが、この3年で38社と、酒造業が急増しています。

タスマニア島にはワイナリーもありますが、ワイナリーはぶどう栽培にかかるコストが大きいため、ウォッカやジンが伸びています。

ます。700頭の牛を飼育し、年間500万t出荷しています。数年前まで900頭飼育していましたが、旱魃の影響で飼料が不足したため、現在は700頭となりました。二ユージーランドに350万t出荷し、自社ブランドで150万t販売しています。

現在は1t47円で、オース

トラリア全体で年間90億

円出荷し、その8割が国内消費となっています。

常呂町農業を学ぶ!!

～岐阜県大野町の小学生がJA施設見学～



工場にある設備の説明を受ける小学生たち



来町した大野北見市派遣団の皆さん

北見市と友好都市の岐阜県大野町の小学生20人が8月26日来町し、操業中の玉葱選別工場と川東牧場を見学しました。

この日は最高気温が20℃未満で、児童たちは北海道の早い秋の訪れに少し肌寒さを感じていたようです。玉葱選別工場では、施設コントラ課の佐久間克和職員が概要説明を行い、施設庫に積まれたコンテナや選果の様子を見学しました。

次に訪れた川東牧場では、広瀬定善牧場長が牧場の目的や牛の飼養管理についてユーモアを交えながら説明を行いました。

児童たちは写真やメモを取りながら、「トライック一台に何個くらいの玉葱が入るのですか?」「牛の耳についている札は何ですか?」と熱心に質問をしていました。

注意喚起を促すことを目的に「農作業安全パレード」を行いました。

JJAところ（川上和則組合長）は、9月4日、本格的な収穫最盛期を迎えて、農作業事故や交通事故を未然

繋がりません。家族皆で声を掛け合い、作業中の事故防止に努めましょう。

農作業の安全を心がけて

～農作業安全パレード実施～



隊列を作つて農作業安全を呼びかけました

楽しく、かしこく、未来をひらく
ハッピーマイライフ

1月号 別冊付録
12月号 第2別冊付録
12月号 第1別冊付録

「家」の光
「tenohikari」

みそそいき汁1
「J-A-C-H-I-T-E-R」

「家」の光
「tenohikari」

12月号
わたくしノート
2020
2020
家計簿

暮らしに役立つ家庭雑誌
『家の光』
12月号・1月号
購読申し込み
受付中

ハッピーマイライフ
家の光

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ
カブリエー家の光協会
TEL 03-3266-9039 http://www.jenohikari.net

農作業Photos

 馬鈴薯



岐阜地区
不破秀樹さん圃場



デントコーン



土佐地区
大広康己さん圃場

 秋小麦播種



豊川地区
馬渕 修さん圃場



岐阜地区
林 隼也さん圃場

第10回 JAところ 収穫“菜”

とき のご案内

10月26日(土)
11時00分～13時00分

ところ

北見市常呂町
スポーツセンター前
「百年広場」

主催 JAところ

※詳細につきましては、後日チラシなど
でお知らせ致します。



国が
支える

老後の備えとして

積立方式で
安心

農業者年金

下の3つの条件を
満たす方であれば、
どなたでも加入できます。

年間60日以上
農業従事

国民年金1号
被保険者

国民年金保険料
納付免除者を除く

60才未満



詳しくは… 農業者年金 検索 <http://www.nounen.go.jp>

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金

TEL : 03-3502-3942 (企画調整室)

TEL : 03-3502-3199 (専門相談員)

第7回理事会報告

- ◆固定資産管理規程の一部改正について
原案の通り改正することで承認されました。
- ◆教育ローンキャンペーン実施に伴う貸付金利率の設定について
原案の通り貸付金利率を設定することで承認されました。
- ◆固定資産の取得について（計画外）
原案の通り固定資産を取得することで承認されました。
- ◆寄付金の支出について
原案の通り支出することで承認されました。
- ◆令和元年度共計澱粉の仮渡金について
原案の通り仮渡しすることで承認されました。
- ◆令和元年度日甜美幌製糖所の受渡立会人の選任について
原案の通り承認されました。

- 〈報告事項〉
- ◆7月末仮決算報告について
 - ◆内部監査報告について
 - ◆固定資産の取得について
(100万円以下 税別)
(100万円以下 税別 リースによる取得)
 - ◆令和元年度上半期余裕金運用実績について
 - ◆JAロゴマークの商標登録の完了について
 - ◆令和元年度馬鈴薯植物検診の実施報告について
 - ◆道農協労連中央執行委員の選出について
 - ◆G.I認証（ところピンクにんにく）に係る経過について
 - ◆風害による団火共済金の受入れについて

行事予定表

10月1日(火)～10月31日(木)

10月14日(月)	体育の日	10月26日(土)	第10回収穫“菜”
10月21日(月)	第9回定例理事会	10月27日(日)	農休日
10月22日(火)	即位礼正殿の儀		

まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、シリコンスプレーをプレゼントします。

先月の当選者・解答

9月号のクロスワードパズルの答えは「サファイア」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

石澤 彰さん（富丘）※（ ）内は地区名です。

読者の声

★9月号のクロスワード難しすぎる!!

(匿名希望)

★写真をいつも楽しみにしています。

(匿名希望)

農業を担う青年たち

No.4

※今年度の新規就農者の皆さんを前月号から引き続きご紹介致します。

豊川地区

江田

けん 拳さん

<父：哲さん>

○生年月日

平成8年12月4日（22歳）

○最終学歴

酪農学園大学

○就農にあたっての抱負

周りの農家、家族から学び仕事の1年の流れを分か るようにする。

○学校で学んだこと

大学生活では学業だけでなく人との付き合いを学びま した。

○趣味

野球



● PRした商品の一覧



● 商品説明をする高田職員（左）

北見市地産地消推進委員会主催の「北見市地産地消フェスタ2019」が9月7日、北見駅南多目的広場で開かれました。本年度の参加団体数は、JAところを含め27団体の参加となりました。

開催当日は、天候にも恵まれ多くのお客様が足を運んでくれました。

常呂ブースでは、今が旬の「とうじんピンクにんにく」や常

地産地消フェスタ 2019

呂産小豆を使用したぜんざいなどの加工品を販売。「テレビを見て気になって買いに来ました」や「昨年も買って美味しかったから」と常呂ブースでお買い求めいただき、商品説明などを通じて消費者との交流を図ることが出来ました。

今後もこのような機会に常呂町の美味しい安全安心な農産物をアピールし、地域の消費者に常呂産農産物が定着するよう、より一層PRして参ります。

編集後記

- 収穫作業もひと段落した頃でしょうか？あとひと踏ん張りといったところですが、気温も徐々に低くなってきておりますので風邪を引かないように無事収穫作業を終えられることを祈っております。
- 今月の26日には当JA主催の「収穫“葉”」が百年広場で行われます。美味しい秋の味覚を多数ご用意しておりますのでぜひ会場にお越し下さい!!

《営農企画課：広報担当》

次世代を担う 若者たち

玉葱の収穫作業を行う岡崎駿一さん

今月の表紙は、共立地区的岡崎駿一さん（25）です。玉葱の収穫作業を行っているところを取材させて頂きました。

収穫作業の合間に、どんな農家になりたいかについて聞くと「多収量で良い品質の物を毎年毎年コンスタントに生産できる農業をしたい」と話してくれました。農作業中にも関わらず、取材、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

